

令和6年度の変更点&確認事項

◎令和6年度の変更事項

1. 地域スポーツ団体申込を取りまとめる地域担当者を選出する。

地域スポーツ団体から専門委員を2名選出し、区部地区と多摩地区における地域スポーツ団体のエントリーのとりまとめをお願いします。地域スポーツ団体の出場者は、昨年までの地域担当者に送るのではなく、区部クラブ(kubu-club@tokyoctr.com)と多摩クラブ(tama-club@tokyoctr.com)の地域担当者にデータを送る。地域スポーツ団体の専門委員は、一覧表と会計をとりまとめ、代表してプログラム編成会議に参加し、地域スポーツ団体の一覧表及び会計一覧表を提出する。

2. 低学年リレーの廃止

低学年リレーについては、関東・全国大会につながらず、人数不足の学校において学年の縛りがあることで出場できないこともある。よって、今年度より廃止をする。

3. 地域別大会3, 4日目に共通リレー記録突破レース(OP)の追加

地域別大会3, 4日目に地域別突破・共通リレーを追加する。ただし、地域別大会1, 2日目に共通リレーの種目で入賞及び、通信大会標準記録を突破している場合には、出場はできない。また、この種目での賞状の授与は行わない。

出場資格は、地域別大会1, 2日目にエントリーしているチームで、3, 4日目に再度エントリーした6名以内のメンバーであること。

*これまで通り、都大会前の公認大会での記録突破も認める(3リレーについて 参照)

4. 支部対抗の支部出場者の人数の変更について

男子：変更なし 女子：17人→19人

男子の種目数と出場者に対して、女子の種目数と出場者の比率が異なることによる変更。

5. 支部対抗の追加種目について

男女 共通 円盤投

追加種目とする。

関東大会に向けた強化、普及目的、また強化選手の選考の指針とする。

6. 男女 共通 円盤投の標準記録の変更

これまで同様に、4月以降の公認大会での標準記録突破も可能とする。

種目/大会名	総合体育大会	通信大会
共通男子円盤投	25m00	26m00
共通女子円盤投	22m00	23m00

7. 中体連主催大会の競技者、部員、引率者・保護者の来場について

ADカード規制を継続する。ただし、出場者は2日間有効のADカードが発行され、両日競技場に来場することができる。また出場選手のサポートとして各学校2枚の生徒用ADカードを発行する。

引率顧問及び引率保護者もこれまでと同様に競技者数と同数のADカードを各学校配付する。

8. 入場規制について

①2日間の出場者、出場者のサポートする生徒2名、引率者及び引率保護者、応援を希望する保護者のADカードを各団体ごとに配付し、規制する。

②当日の朝37.5℃以上ある選手の来場は控えるよう周知徹底する。

③ADカードをもった保護者、指導者のみ撮影を許可する。

④生徒による写真・動画の撮影は一切禁止とする。

⑤支部毎の場所取りの割り振りを継続する。

9. 大会申込の外字対応について

申し込みファイルの競技者名はすべて、常用漢字で入力する。プログラムには常用漢字で氏名を載せる。ただし、賞状に印刷される漢字は、外字作成申請書(HP掲載)を大会毎に提出する。提出した外字が対応できない場合は、常用漢字か白紙での賞状を希望するかを選択してもらおう場合がある。(大会のプログラム編成では、外字対応ができない。個別の修正が短い作業時間では難しいため。)

10. フィールド種目の手拍子

中体連主催大会では、フィールド競技の選手による手拍子は、6回目のみとする。(トラック種目の競技時間のずれを防止するため)

走高跳の手拍子については、各ピット試技者が4名以下になった3回目の試技の場合とする。

11. 地域別大会のプログラム編成会議会場の変更

多摩地区のプログラム編成会議会場を都立立川国際中等教育学校に変更する。

◎令和6年度の確認事項

1. 中体連主催競技会は、学校または、東京都中学校体育連盟への加盟・登録をした地域スポーツ団体等での参加が可能となる。

在籍している学校、または日本陸上競技連盟に登録をしている団体（地域スポーツ団体等）のいずれかで参加することができる。参加地域は学校で参加の場合は現行通り、地域スポーツ団体等で参加する場合は、該当生徒が通う学校の地域とする。（地域別は4地域のいずれか、支部対抗は市区町村）
リレー・駅伝は、学校で参加する場合は現行通り、地域スポーツ団体等で参加する場合は、登録メンバー全員が同一校に在籍している場合に限り、参加することができる。

複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

中体連主催の競技会においては、最初の「地域別大会」で出場した所属のみで参加できる。

①選手の出場種目の例：

『開進クラブ』に開進一中、開進四中の選手が所属している。開進一中の生徒である「門脇太郎」が地域別の種目で、「100m」と「棒高跳」と「共通リレー」で参加する場合

○ 全ての種目を「開進一中」か「開進クラブ」のどちらか一方の所属で出場できる。

× 「100m」は開進一中、「棒高跳」と「リレー」は開進クラブの所属として分けて出場することはできない。

○ 「リレー」を『開進クラブ』で出場するには、開進一中に所属するクラブ登録者4～6名でエントリーすることができる。

× 「リレー」を『開進クラブ』で出場する場合、開進クラブに所属する違う学校の開進四中の生徒である「上田一郎」をエントリーすることはできない。

②選手のエントリー地区の例：

『倉持オール東京クラブ』に、あきる野西中（多摩西部）、清瀬三中（多摩東部）、開進四中（区部西部）、深川五中（区部東部）の選手が所属している場合

○ あきる野西中の「遠藤次郎」は多摩西部、清瀬三中の「中田三郎」は多摩東部、開進四中の「上田四葉」は区部西部、深川五中の「呑口五月」は区部東部でエントリーをするため、クラブ責任者である倉持代表は、地域別の申込一覧表を地域ごとに作成し、それぞれの担当者にデータを送る。

× 上記の4人を一枚の一覧表に作成し、多摩西部でエントリーすることはできない。

*一覧表の公印はクラブの印に代えることができる。（なければ代表者の私印）

*地域スポーツ団体等から2団体の代表者を専門委員とし、中体連主催大会申込の取りまとめを行うこと。

*地域スポーツ団体を代表する専門委員は、地区のプログラム編成会議に参加すること。

*地域スポーツ団体等の監督またはコーチは、必ず1名以上大会の審判を派遣すること。

*クラブの引率者が地域スポーツ団体等の指導者の場合は指導者資格を有していること。

（例JAAFスタートコーチ、JAAFジュニアコーチなど）

2. 地域別大会プログラム編成上の変更

地域別大会で400mでは、出場制限を設けている。長距離と同様に、上位と下位の記録に差があり、1組の競技時間に差がでるため記録順にプログラム編成を行う。

大会運営上の遅延が起るため、出場制限を守り、エントリーすることへの協力を要請する。

3. 標準記録種目での東西地区の8位同等での都大会出場資格は与えない

例：2、3年女子走幅跳（総体標準記録4m70）の場合

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
東部	○ 5m45	○ 5m32	○ 5m18	○ 5m12	○ 5m08	○ 4m83	○ 4m68	○ 4m63	× 4m61
西部	○ 5m55	○ 5m39	○ 5m28	○ 5m16	○ 5m04	○ 4m91	○ 4m79	○ 4m71	× 4m69

・東部7位・8位は標準記録を突破していないが、8位入賞により出場資格あり。

・西部9位は東部7位・8位よりも記録がよいが、標準記録を突破せず入賞もしていないので出場資格なし。

・地域変更者は、当該地区の8位入賞記録をマークすれば出場資格を与える。（○位相当入賞として賞状が授与された選手）

4. 総合体育大会・通信大会の共通種目による関東大会の選考対象について

関東大会の選手選考では、1年生種目と共通種目の同一種目があるものについては、共通種目で選考を行う。1年生種目で好タイムを出しても、レースの条件が異なるため、選考対象はしない。都大会では、地域別大会の2, 3年種目名を共通種目にしているため、都大会の参加標準記録を突破していれば、1年生でも同一種目の共通種目に出場できる。関東大会の選手選考を検討する場合、1年生であっても共通種目にエントリーすることが条件となる。

5. 東京都中学校総合体育大会陸上競技大会の都中体連本部より支給される賞状とメダルについて

	男子	女子
①	1年100m	1年100m
②	2年100m	2年100m
③	3年100m	3年100m
④	共通200m	共通200m
⑤	共通400m	1年800m
⑥	共通800m	共通800m
⑦	1年1500m	共通1500m
⑧	共通1500m	共通100mH
⑨	共通3000m	共通走高跳
⑩	共通110mH	共通棒高跳
⑪	共通走高跳	1年走幅跳
⑫	共通棒高跳	共通走幅跳
⑬	1年走幅跳	共通砲丸投
⑭	共通走幅跳	共通円盤投
⑮	共通砲丸投	共通四種競技
⑯	共通円盤投	共通400mR
⑰	共通四種競技	
⑱	共通400mR	

以上、○数字で示した男子18種目と女子16種目は、総合体育大会種目とし、賞状とメダルを授与する。全ての種目は選手権種目となり、賞状の授与を行う。

6. その他

① ルール修正（表現の変更）

競技用シューズの規程について

- ・国内（中体連や普及を目的とした大会）では適応除外だが、11月より新ルールが適応されることになる。使用できるシューズはWAが一覧表を作成し、一覧表にないシューズは、競技者係で計測を行うことになる。

② 選手の競技エリア内での行動について

携帯電話などの通信機器の持ち込みは規則違反。絶対に持ち込まないようにすること。